

つながりを大切にし、  
かかわりを深める児童生徒の育成



# ユネスコスクール便り

令和6年2月16日

大牟田市ユネスコスクール

担当者通信

No.134



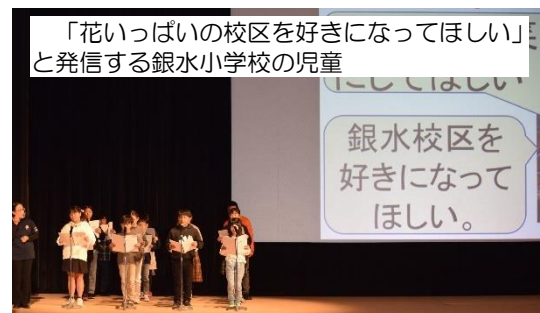
## ユネスコスクール・ESD/SDGs 子どもサミットが開催されました

毎年、大牟田市では「ユネスコスクール・ESD/SDGs 子どもサミット」を開催しています。本サミットは、各学校の特色ある ESD の取組を市内外に発信し、大牟田市の ESD の発展に寄与することをねらいとするものです。

本年度は、1月27日(土)に、大牟田地域教育力向上推進大会とあわせて開催され、中友、銀水、手鎌の各小学校と、歴木中学校の4校が実践発表を行いました。中友小学校は、子ども民生委員の取組をとoshした町づくりの取組、銀水小学校は、子どもたちが育てた花苗をとoshして地域との絆を深める取組、手鎌小学校は、自分や家族、地域の方々の大切な命を守る防災・減災教育の取組、歴木中学校は、生徒のアイデアを生かした芸術作品をとoshして、地域の高齢者の方々とつながる福祉教育の取組を発信しました。

サミット中盤では、まこパーティさんと天領小学校の子どもたちによる大牟田市のオリジナル楽曲『未来へ繋ぐストーリー』が披露され、サミット開催に花を添えました。

また、講演では、JAXA 宇宙教育センター長を務める北川智子先生から、貴重なお話をいただきました。講演後には、参加した中学生や高校生から北川先生への質問があるなど、実り多いサミットとなりました。



「花いっぱいの校区を好きになってほしい」と発信する銀水小学校の児童

銀水校区を  
好きになって  
ほしい。



宇宙について話す北川先生と生徒

## 特色ある実践事例の紹介



### 地域の活性化と自分の生き方 松原中学校

松原中学校は、地域や社会との交流を通して、人と人、人と地域社会、過去・現在と未来とのつながりを理解した、持続可能な社会を拓く姿勢を身に付けた生徒の育成を目標としています。

2年生では、自らの生き方について考える機会とすることを目的として、地場産業や経済を中心にした「仕事」を切り口に、企業や大学、高校からGTを招聘して、働くことの大切さや大変さ、喜びなどについて学んでいます。今年度は、いなだ豆の社長や九州大学の留学生による講話、帝京大学の学生による福祉や救護の体験学習、証券会社による金融教育などを実施しました。



救護体験学習の様子



### 地域とともに安心・安全なまちづくり 大正小学校

大正小学校では地域とともに安心・安全なまちづくりを目指しています。昨年度は4年生が「子ども SOS の家」や「子ども食堂」と連携して様々な活動を行いました。みんなが子ども食堂を利用するようにポスターを作成して発信したり、「子ども SOS の家」が身近な存在になるようにと、地域の方々の顔写真や子供たちへのメッセージを掲載したりするなどの工夫を施した「大正校区子ども SOS の家マップ」を作成したりして、安心・安全なまちづくりをめざしています。



マップをつくるために地域の方にインタビューする様子